

令和3年度



都城市立高城小学校

学校評価書

I 知育 【学力の向上】

[4 : 期待以上 3 : ほぼ期待通り 2 : やや期待を下回る 1 : 改善を要する]

項 目	評 定			学校の自己評価コメント	学校関係者評価委員	
	学校	児童	保護者		評定	コメント
①「日々の授業改善と組織的取組」 4つのチェックポイントを意識した授業改善、学力定着の見届け	2.9	3.4	3.3	「めあて」と「まとめ」を意識した授業展開に努めるとともに、1人1研究授業を実施することで授業改善に努めた。また、Google Formsを活用することで、児童の学習内容の理解度を把握し、個に応じた指導の授業展開に努めることができた。	3	② 今年度から読み聞かせに参加させていただき感じたことは、予想以上に子ども達がよく聞いてくれたこと。外部の人から読み聞かせしてもらおうと新鮮な感じがするのかもしれないが、嬉しかった。 ② 朝の読み聞かせの協力をする方が増えたので良い取組ができていると思う。 ② 種々のイベントで読書意欲向上の努力が認められる。さらなる意欲の向上のためには、子ども達の生活時間の中で、どのくらいの読書時間がとれるかを分析したらよいと思う。 ③ 学校、児童、保護者とも評価が高く、取組の成果が出ている。常にルールを意識しながら、効果的な実践の積み重ねをお願いしたい。
②「読書の推進」 図書館サポーターの活用、読み聞かせ（ひよこの会、図書委員会）による読書意欲の喚起	3.3	3.2	3.1	図書館サポーターを中心として、様々なジャンルの本に親しめるようなイベントの実施や季節に応じた図書室掲示等に取り組んだことで図書室を利用する児童が増えた。 また、朝の読み聞かせには、図書委員、保護者、まねきねこの会、幼稚園・保育所の職員等、さまざまな形での読み聞かせを実施することができ、読書への意欲付けを図ることができた。 しかし、読書意欲には個人差があるため、本に触れる機会の更なる工夫が必要である。		
③「ICTの効果的な活用」 児童1人1台のタブレットを活用した授業の推進	3.2	3.6	3.3	児童一人につき一台のタブレットが配付されたため、教職員のスキル向上研修を積極的に行い、タブレットを活用した授業実践を全職員で推進した。そのため、授業の様々な場面でタブレットを活用するようになり、児童の調べ学習の幅が広がるとともに、児童のICT活用能力やタイピング力の向上を図ることができた。 今後も、タブレット使用のルールを徹底を図りながら、タブレットを効果的に活用した授業改善を更に推進していく。		
④「指導法の確立」	2.3			コロナ禍であるため、高城小、石山小、高城中の各校		

<p>高城中、石山小との合同研修による指導力向上を目指した研究授業の実施</p>			<p>で授業録画（高城中2年 理科の授業）の視聴を基に研修会を行った。協議題を「ICT活用の現状と課題」とし、授業に関して参考になった点や課題等の意見を出し合う中で、今後の活用法について共通理解を図ることができた。</p>	<p>③ 新しい教育スタイルなので、個人差を極力なくす指導をお願いしたい。</p> <p>④ 幼・小・中が近くにあるので、今後とも連携を図ってほしい。</p>
<p>⑤「個に応じたきめ細かな指導の徹底」 各種学力調査の分析結果の活用</p>	<p>2.6</p>		<p>全国学力・学習状況調査（6年対象）、みやざき学習状況調査（5年対象）をはじめ、各学年での市販テスト等、計画通りに実施することができた。実施後は、結果を分析し、落ち込んでいる内容等の復習や個別指導等に活用し、力の定着に努めた。</p> <p>各種学力調査の分析結果を活用し、個別指導等に努めているが、学びの定着は十分とは言えず、家庭との連携も必要である。</p>	<p>⑤ 個別指導まで展開されているので、評価できる。更なる定着と家庭の連携を目指して改善策を講じて欲しい。</p>

Ⅱ 徳育 【心の教育の充実】

[4 : 期待以上 3 : ほぼ期待通り 2 : やや期待を下回る 1 : 改善を要する]

項 目	評 定			学校の自己評価コメント	学校関係者評価委員	
	学校	児童	評定		評定	コメント
①「道徳の時間の指導の充実」 人権意識の啓発、「いのちの授業」 の実施	3.2	3.2	3.3	<p>「人権に関する授業」を全学級実施し、差別や偏見に関する意識づけを図ることができた。「いのちの授業」については、児童の心に響く資料を準備し、計画的に実施することができた。</p> <p>また、友達を「さん」付けで呼ぶことを指導しているが、今後も継続して指導していく必要があり、児童の人権意識を更に高める上で、家庭との連携を深めることも必要である。</p>	3	① いのちの授業の大事さ、大切さを非常に感じる。今後もいじめ対策等に生かしてもらいたい。
②「定期的な教育相談の実施と見届け」 ハートフル委員会の充実といじめ不登校の実態把握と対策の徹底	3.0	3.0	3.1	<p>「こころのアンケート」を実施後、各学級で教育相談を行い、全職員での情報共有及び対応協議するハートフル委員会を計画的に開催し、児童の実態把握に努めることができた。</p> <p>また、不登校傾向の児童に対しては、児童の現況だけでなく保護者の想いや願い等も個別相談で聞き取りながら、児童の状況に合わせた対応について関係職員でその都度協議し、児童一人一人に寄り添った対応に努めた。</p>		① 家庭との連携として、授業資料の一部を保護者に閲覧してもらう方策も考えられる。
③「異学年交流や幼稚園との交流による連帯感の育成」 表現集会、避難訓練、異学年清掃、日常の遊び等での交流	2.9	3.6	3.3	<p>昨年度は実施できなかった異学年交流であるが、今年度は感染症防止対策等を講じながら、異学年清掃や縦割り班ごとの読み聞かせ会等、異学年交流を実施することができた。</p> <p>3学期は、6学年と幼稚園との交流会を実施予定である。</p> <p>また、地震を想定した避難訓練やみやざきシェイクアウト、引き渡し訓練等、各種訓練についても、感染症防止対策等を講じながら実施することができた。</p>		② 今後も継続した取組をお願いする。
④「時と場に応じた基本的な生活習慣の徹底」	2.8	3.3	3.2	<p>あいさつ、返事、整理整頓等についての常時指導を行ってきたが、十分な成果が子ども達の姿に出ているとは言い難</p>		③ コロナ禍の中で大変だと思うが、できるだけ交流をお願いしたい。
						④ 児童、保護者とも好評なので、学校の評価も高い方が良く思う。
						④ 見守り隊の方が毎朝同じ場所に立ち、挨拶をしてくださっているが、子ども達にとって、それが「当たり前」になっている現状があるように思う。自分たちのために立ってくだ

あいさつ、返事、整理整頓等の徹底（家庭との連携）			<p>く、今後も引き続き、手立てを工夫しながら継続指導をしていく必要がある。</p> <p>また、学校だけで指導するのではなく、家庭との連携を密にして基本的な生活習慣の定着をさせていく必要がある。</p>	<p>さっているという意識を忘れないよう、子ども達への学校からの言葉かけも必要だと思う。</p>
<p>⑤「自他の生命やきまりを守る指導の徹底」</p> <p>安全な登下校、施設、設備の安全点検と安全な使用の指導</p>	2.9		<p>登下校の指導については、全校児童を対象にした登校指導や下校時の見回り等を随時行った。また、児童の登下校の様子について地域から学校への情報提供があった際は、全校への緊急指導を行ったり、対象児童への具体的な指導を行ったりすることで、大きな事件・事故等が発生することはなかった。</p> <p>また、毎月の安全点検を確実に実施し、可能な限り修繕等の即対応したことで、校内での事故が発生することはなかった。</p>	<p>④ 児童、家庭に比べて学校の評価が低くなっている。何が低い評価になっているか原因を分析して、継続指導をお願いしたい。</p> <p>⑤ 今後も、安心・安全な学校づくりを継続してもらいたい。</p> <p>⑤ 登下校の事故、校内の安全点検を実施し、無事故を達成しているので、学校の自己評価を高くしても良いと思う。</p>

Ⅲ 体育 【体力の向上】【健康教育の推進】

[4 : 期待以上 3 : ほぼ期待通り 2 : やや期待を下回る 1 : 改善を要する]

項 目	評 定			学校の自己評価コメント	学校関係者評価委員	
	学校	児童	保護者		評定	コメント
①「体力の向上」 体育の授業における運動量の確保、体力向上プランの確実な実施と個への対応	2.8			運動量を十分に確保できるような授業の流れを工夫したり、学級体育をより多く実施できるように計画したりして、十分な運動量を確保する体育の授業を行うことに努めた。 今後は、今年の体力テストの結果を基に体力向上プランを作成し、計画的に体力の向上を目指した運動に取り組んでいく予定である。	3	① 過酷な体力プランにならないような指導をお願いする。
②「体育的行事の充実」 運動会、持久走及びなわとび運動の推進	3.3	3.8	3.4	運動会や持久走といった体育的行事は、感染症防止対策を講じながら計画どおりに実施することができ、児童も充実感や達成感を味わうことができた。 運動会においては、前日準備から当日の受付・出入口の対応等、PTA三役の方のご協力のおかげで、徹底した感染症予防対策を講じた上で運動会を実施することができた。		② 児童が達成感をもち、成長する大切な要素である。今後とも手立てを工夫して取組を進めて欲しい。
③「運動を楽しむ態度の育成」 休み時間や放課後等の外遊びの奨励	3.0	3.5	3.2	地域感染レベルが上がっている時は、遊具の使用禁止や昼休みカット等の対策をとり、感染症防止対策を重視した指導を行った。 地域感染レベルが下がってからは、外遊びの声かけをしたり、担任も一緒に遊ぶ日を設けたりしたことで、昼休み時間になると運動場へ出て元気に遊ぶ姿が多く見られるようになった。		② 本年度はさまざまな工夫を凝らして全児童が参加できる競技となっていた。
④「立腰指導の徹底」 整列時ならびに時と場（集団行動）に応じた指導	3.1	3.2	3.1	児童が立腰を意識できるように、机に赤と青のラインを引き、ラインを目印とした具体的な立腰指導を繰り返し行うことで、児童も担任も立腰をより意識することができた。 また、身体計測時には、養護教諭からの立腰指導も実施す		③ 担任の負担も多い中、一緒に遊ぶのは良いことだと思う。今後も続けてほしい。
						⑤ 困難な状況の中、きめ細かい手立てを工夫していただき、感謝したい。

				ることで、児童への意識づけをさらに高めることができた。	
<p>⑤「感染症防止対策」</p> <p>各種行事や教育活動の見直し、健康カードの確実なチェック、保護者への対応協力依頼、場に応じたマスクの着用</p>	3.5	3.6	3.5	<p>地域の感染レベルに応じた健康チェックカードの活用や、学級での健康観察による児童の健康状態を把握するとともに、マスク着用や手洗い・うがいの励行、校内の消毒タイムの実施等、常に感染症防止対策を講じながら、学校教育活動の展開に努めた。</p> <p>参観日等を実施する際は、参加人数の制限、確認票の提出等、具体的な新型コロナウイルス感染防止対策を打ち出したり、保護者受付でも直接保護者への対応協力をお願いしたりする等、地域の感染レベルに応じた感染症防止対策を講じることに努めた。</p>	<p>⑤ 昨年と比べても、対策の強化が見られて良いと思う。保護者からの意見等も出なかった。</p> <p>⑤ 適切な対策で、集団感染が発生することもなかったことは高い評価に値する。今後も対策の継続をお願いする。</p> <p>⑥ コロナ禍の参観日等の開催の有無が難しい中、対応の速さが重要になってくると思う。</p>
<p>⑥「ノーメディアデーの取組」</p> <p>学校保健委員会や参観日等を活用した保護者への啓発</p>	2.8	3.3	3.1	<p>コロナ禍の状況の中、学校保健委員会や参観日等を活用した啓発はできなかつたため、学校からの文書および学級通信等での呼びかけ等を行ったり、学級担任から児童への声かけを行ったりしたことで、積極的に取り組む家庭が多かった。</p> <p>また、非行防止教室をオープンスクールで実施し、メディアやゲームとの付き合い方を取り扱ったことで、より効果を高めることができた。</p>	<p>⑥ 学校の努力により、児童、保護者とも評価を得ている。学校側の評価も高くて良いと思う。</p> <p>⑦ コロナ禍での学校保健委員会の開催が難しい中で実施できたことは良かったと思います。委員会所属の保護者の報告も良かったです。今後も続けてほしい。</p>
<p>⑦「健康の保持増進」</p> <p>基本的な生活習慣の定着（「早寝・早起き・朝ごはん」など）、むし歯治療の推進</p>	2.9	3.5	3.2	<p>学校保健委員会で「うん知育教室」の講話を実施し、その後、学校保健委員会所属の保護者が学級懇談の中で「うん知育教室」の内容について報告をしたり、養護教諭が発行する保健室便りで記事掲載したりすることで、生活習慣についての啓発を行った。</p> <p>眼科検診および歯科検診後、病院受診が必要な児童に受診勧告を発行（視力を2回、歯科を3回）した。12月1日時</p>	

			点での治療率は、むし歯治療率60%（12月1日時点）、視力の受診率65%となっており、引き続き保護者への啓発を継続していく。		
--	--	--	--	--	--

IV その他 【信頼される学校】

[4 : 期待以上 3 : ほぼ期待通り 2 : やや期待を下回る 1 : 改善を要する]

項目	評 定			学校の自己評価コメント	学校関係者評価委員	
	学校	児童	保護者		評定	コメント
<p>①「コンプライアンスに関する研修と実践」</p> <p>学期1回（その他必要に応じて）の研修と日々の実践・振り返り</p>	3.4			<p>チェックリストで自分自身や学校全体のコンプライアンスについて振り返り、その結果を基にして研修内容を計画したコンプライアンス研修会を、学期1回ずつ実施した。また、職員会等でも随時、発生した事案を取り上げてコンプライアンス啓発を行ったことで、意識の向上を図ることができた。</p>	4	<p>① 大変重要なことなので、今後とも研修会の継続をお願いする。</p>
<p>②「学校と家庭・地域の連携」</p> <p>P T A活動・地域行事への積極的参加、安全な通学路の確保、育てる苦勞や楽しさ体験（実習田での田植え・稲刈り体験等）</p>	2.9	3.4	3.3	<p>2年生は、J Aからさつまいもの苗を提供いただいたり、町探検でお店を訪問させていただいたりして、充実した生活科の学習を行うことができた。5年生は、地域の方からの多くの支援・協力をいただき、田植えと稲刈りの実習もでき、コロナ禍の中、できる範囲での人材活用、校外学習を実施することができた。</p> <p>また、警察の方から不審者への対応について直接指導を受けた上で、全職員で不審者対応訓練を実施したり、保護者にも参加いただき非常時災害の保護者引き渡し訓練を実施したりすることができた。</p>		<p>② 今後もぜひ、お願いしたい。</p> <p>② コロナ禍の中で適切な生活、学習、不審者対応訓練ができたと思う。</p>
<p>③「魅力ある参観授業と学級懇談の実施」</p> <p>参観率・懇談率アップ</p>	2.6		3.1	<p>学級通信で参観日・懇談会への参加を呼びかけたり、懇談内容をしっかり知らせたり、保護者も授業へ参加できるような参観授業の計画を工夫したりすることで参観率・懇談率のアップにつなげることができた。</p> <p>3学期は、学校運営協議会委員からの意見を基に、午前参観の日と午後参観の日といった2日にわたるオープンスクールを設定し、より多くの保護者が授業参観できるように計画している。</p>		<p>③ オープンスクールの設定を工夫してもらえて良かった。</p> <p>③ 参観日・懇談会への参加者増加のための企画の工夫が認められる。今後も継続をお願いする。</p>

<p>④「学校運営協議会の充実」 授業や行事等の参観する場を設定して協議の時間を十分確保</p>	<p>3.1</p>		<p>学校運営協議会開催日前に会長との事前打合せを行ったことで、スムーズな会の進行および協議時間の十分な確保ができた。</p> <p>また、学校運営協議会委員と学校との熟議により、保護者を講師としたキャリア教育の実施、あげ馬保存会の方による総合的な学習の時間の授業の実施、「幼稚園・保育園」および「まねきねこの会」による読み聞かせ等の実施ができた。</p>	<p>④ 今年度の学校運営協議会は、非常にやりがいがあった。</p> <p>今後も児童を中心にして協力できるように、学校運営協議会がスムーズに開催できれば良いと思う。</p> <p>④ 昨年度より大幅に改善されていると思う。</p>
--	------------	--	--	--